

# 富士ダイス株式会社

2017年3月期 決算説明資料



匠の技と信頼の輪

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

## 目次

FUJILLOY

	page
I : 会社概要	2
II : 当社の特長	9
III : 2017年3月期 業績概要	17
IV : 2018年3月期 業績見通し	24
V : 成長戦略	28
VI : 参考資料	36

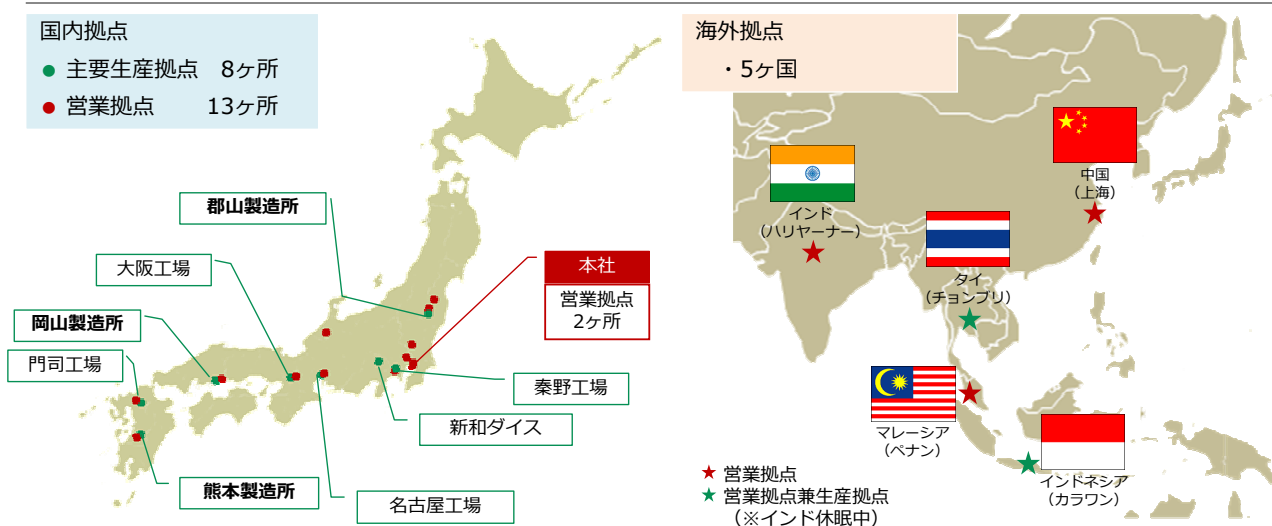
I :	会社概要	2
II :	当社の特長	9
III :	2017年3月期 業績概要	17
IV :	2018年3月期 業績見通し	24
V :	成長戦略	28
VI :	参考資料	36

## 会社概要

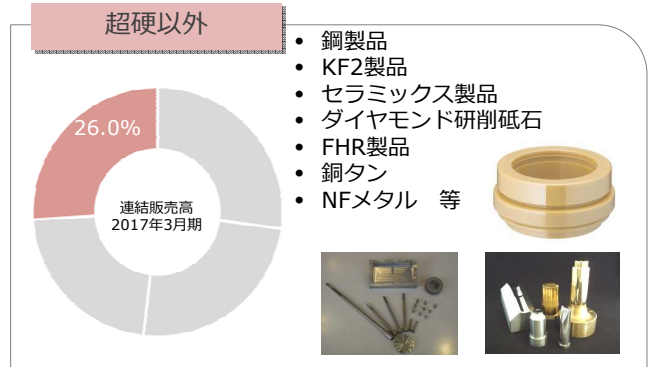
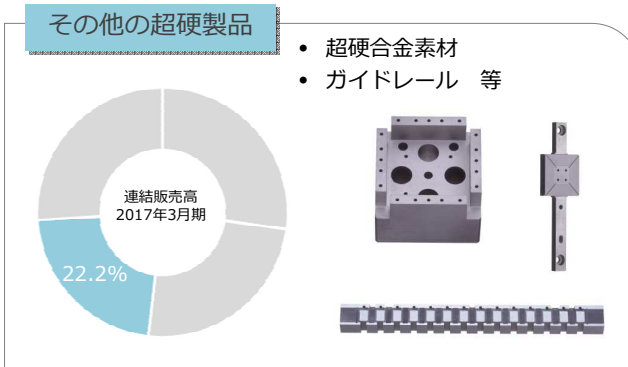
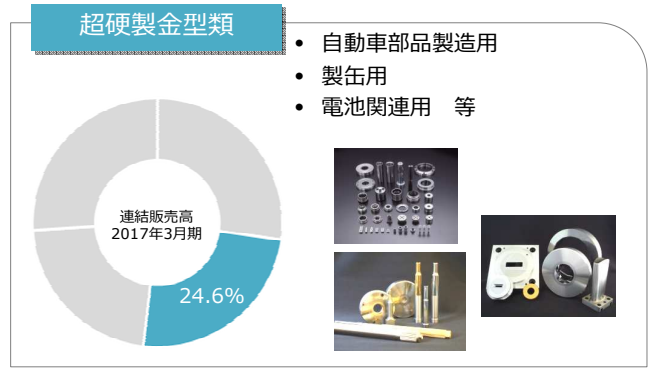
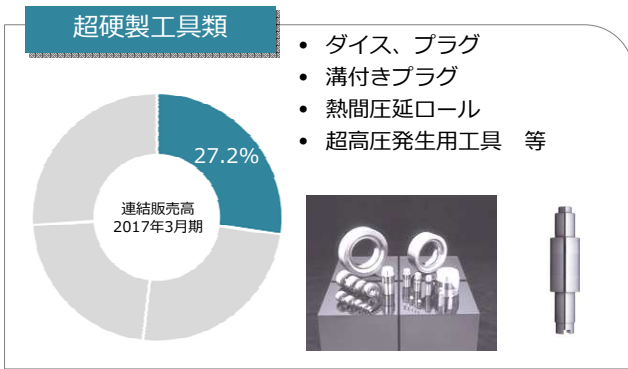
### 会社概要

商号	: 富士ダイス株式会社	創業	: 1949年6月
所在地	: 東京都大田区下丸子2-17-10	設立	: 1956年4月
資本金	: 164百万円	事業目的	: 超硬合金製の耐摩耗工具・金型の製造・販売
代表者	: 代表取締役社長 西嶋 守男	従業員数	: 1,065名 (2017年3月期末、連結)

### 拠点 (2017年3月31日現在)



■ 超硬合金製を中心とした工具・金型（耐摩耗工具）製造に特化



耐摩耗工具とは？（ダイスとプラグ）

- 超高精度の金属加工（塑性加工）を実現する工具・金型
- モノ作りのコアな工程における、生産性に直結する重要な部材
- 最適な工具・金型選びが、加工速度、精度に大きく影響

代表的な耐摩耗工具 ダイス・プラグ

【ダイス・プラグの使用例】

ダイス・プラグは多くの製品の製造に用いられる

丸型 ← 大型 → 異型

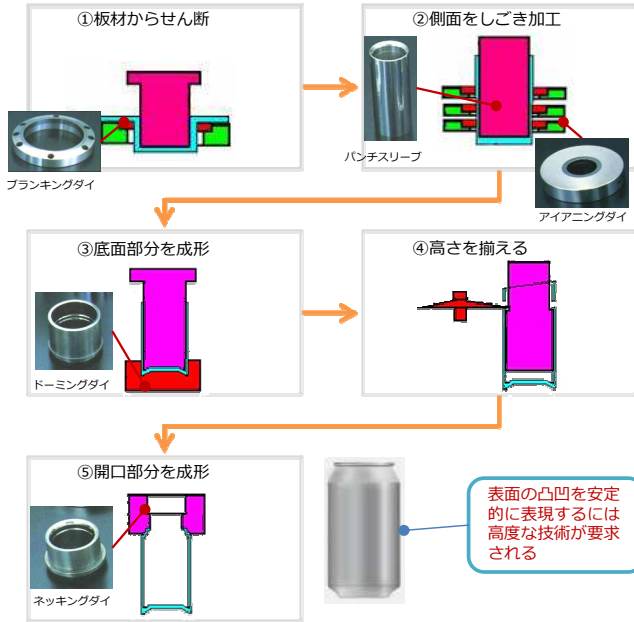
注射針

小型

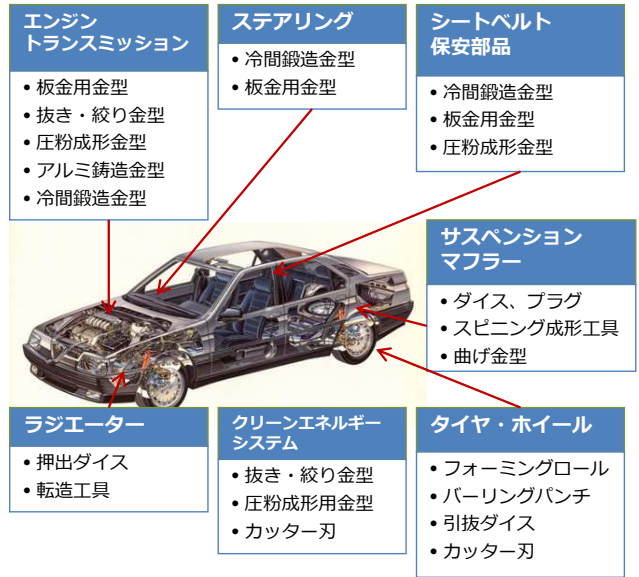
当社は単純形状から複雑形状、超小型から大型まで  
対応可能な技術力・設備を有しており  
国内トップシェアを誇る

- 超高精度の金属加工（塑性加工）を実現する工具・金型
- モノ作りのコアな工程における、生産性に直結する重要な部材
- 最適な工具・金型選びが、加工速度、精度に大きく影響

## 飲料缶の製造工程（軽量化・薄肉化・小型化に貢献）



## 自動車部品の製造に多く用いられる



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

# 様々な製品の製造工程に用いられる

- お客様の製造工程における生産性（加工速度や精度）向上に直結する超高精度の工具・金型を提供

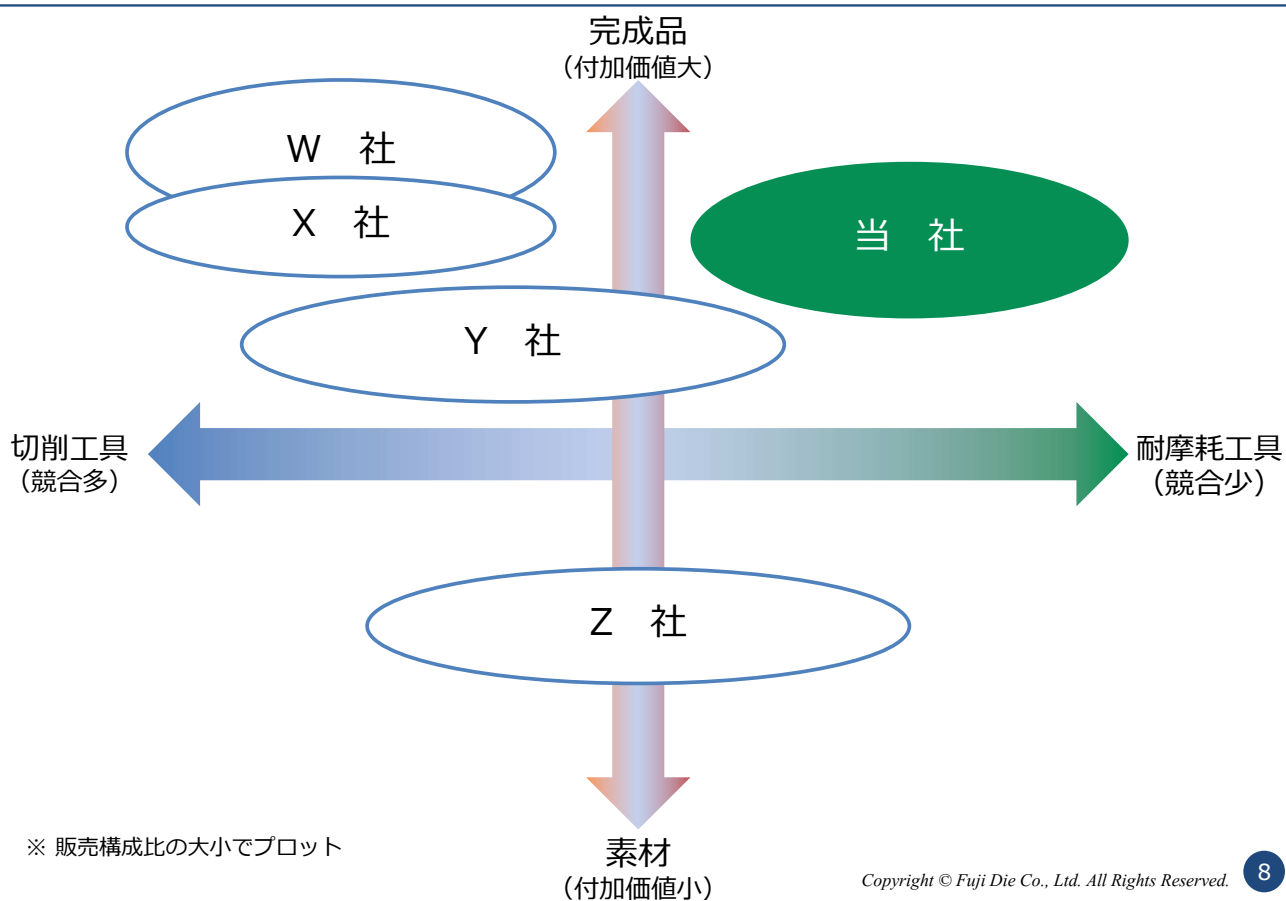
### 当社工具・金型



### お客様の最終製品例



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.



	page
I : 会社概要	2
II : 当社の特長	9
III : 2017年3月期 業績概要	17
IV : 2018年3月期 業績見通し	24
V : 成長戦略	28
VI : 参考資料	36

POINT1

超硬耐摩耗工具業界で長期に亘り**国内トップ**

POINT2

受注生産・直販体制、**全国をカバー**するネットワーク  
取引先は**約3千社**、**業種も多岐**に亘る

POINT3

**一貫生産体制**により様々なオーダーに柔軟に対応

POINT4

**開発力-生産技術力-営業力**が競争力の源泉

POINT5

**堅固**な財務基盤

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

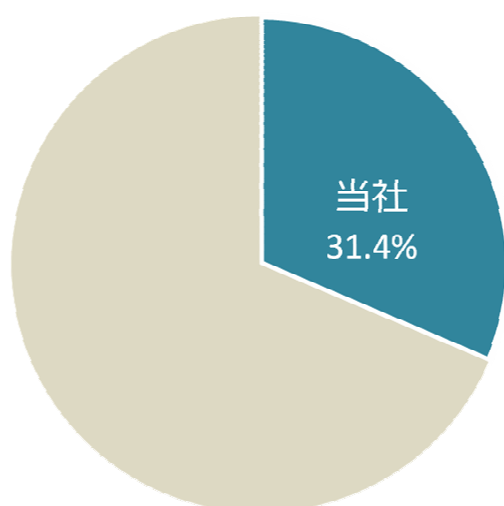
10

POINT1

## 耐摩耗工具専門国内トップメーカー

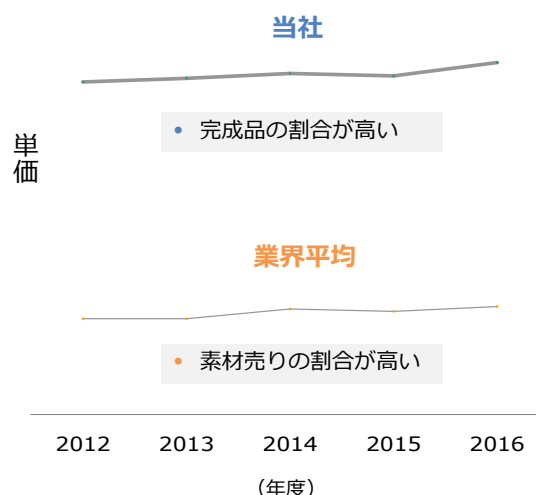
- 国内超硬耐摩耗工具業界で当社は**長期に亘り**、**トップシェア**を堅持
- 少量多品種の**高付加価値製品**の販売が主で、販売価格は**安定**して推移

耐摩耗工具国内出荷額シェア（2016年度）



出所：日本機械工具工業会

製品の平均単価の推移



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

11

- 業界最大の約100名の営業員による**直接販売網**を構築
- メンテナンス（修理・再研磨）により**高いリピート率**を実現

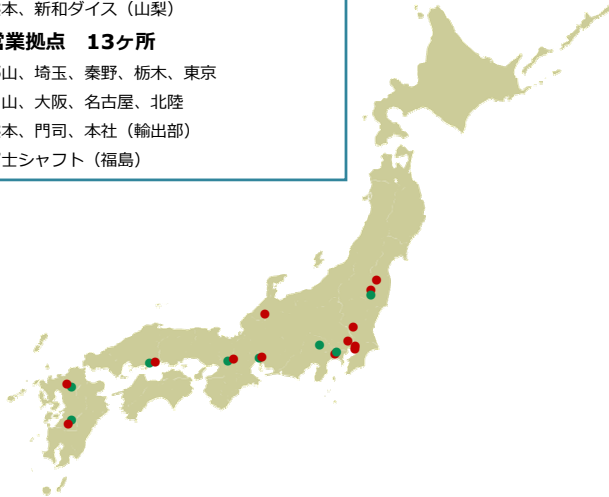
拠点網（2017年3月31日現在）

## 主要生産拠点 8ヶ所

郡山、秦野、名古屋、大阪、岡山、門司  
熊本、新和ダイス（山梨）

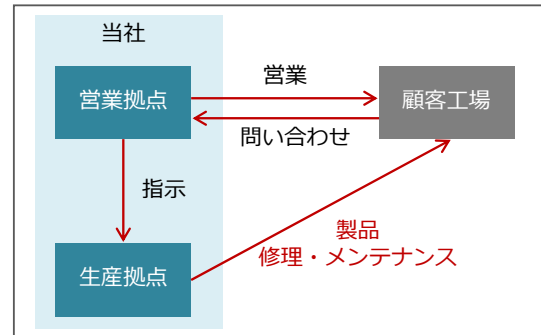
## 営業拠点 13ヶ所

郡山、埼玉、秦野、栃木、東京  
岡山、大阪、名古屋、北陸  
熊本、門司、本社（輸出部）  
富士シャフト（福島）



顧客との強固なネットワーク

- リレーションを強化することにより、顧客の要望に対しタイムリーに対応
- 顧客の生産効率アップに繋がる提案が可能



## 顧客ニーズ

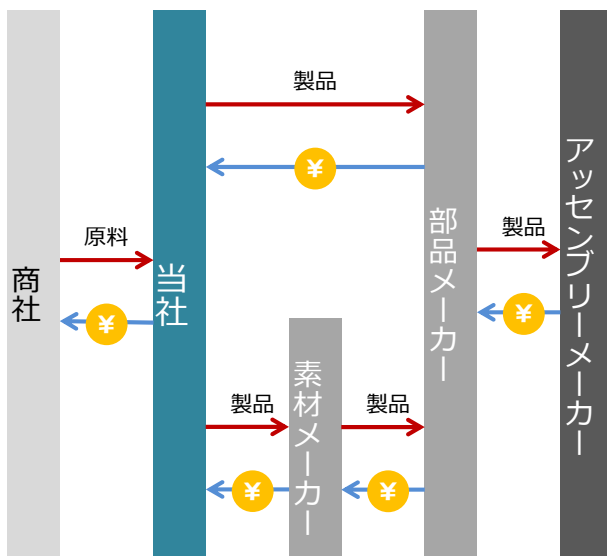
- 製品自体の耐摩耗性や精度の高さ
- 設計思想や生産体制に合った製品

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

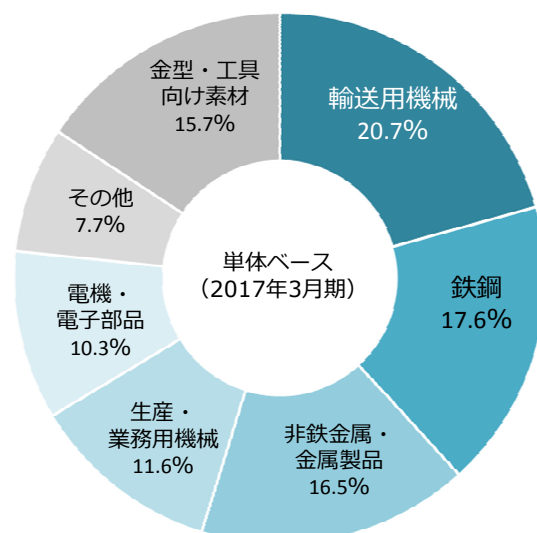
12

- 少量多品種の顧客毎の**カスタムメイドの受注生産・直接販売**を行う
- 取引社数は**約3千社**、業種も幅広い
- 特定の系列に属さない**独立系**のため様々な業界、企業と取引が可能

事業フロー



顧客産業分類別売上構成比率



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

13

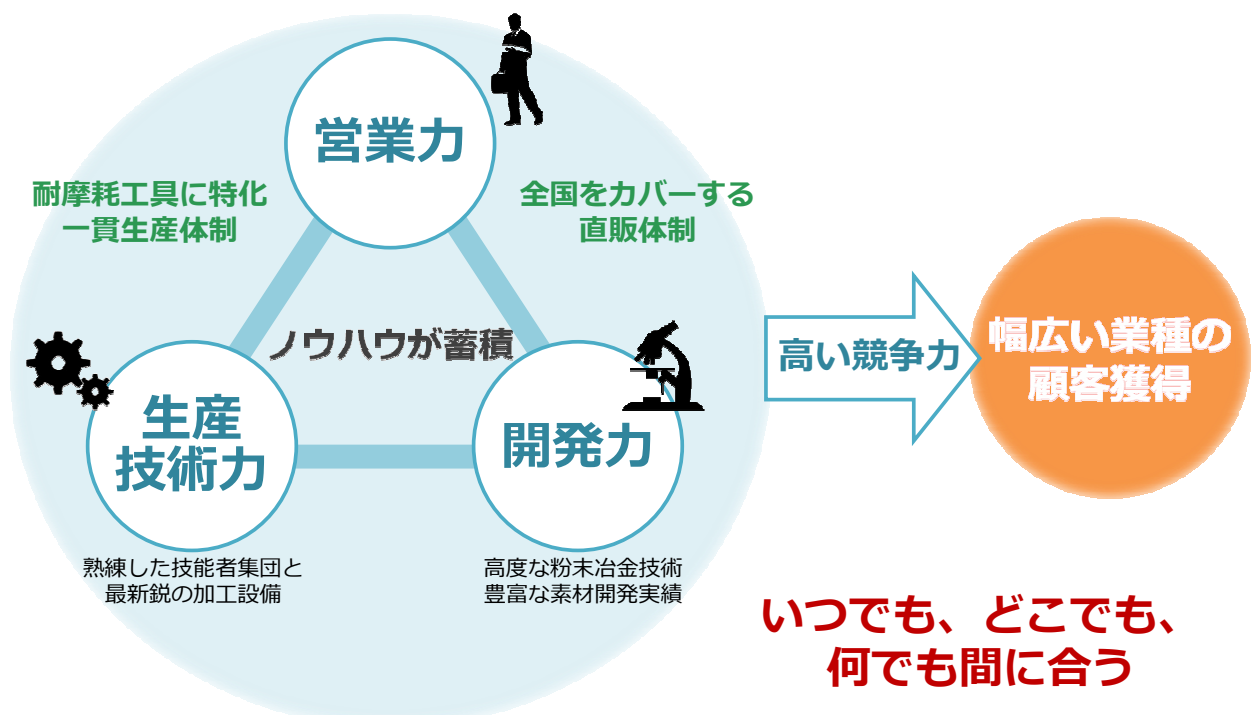
- 設計から原料粉末の調製、焼結、機械加工、製品検査まで一貫した受注生産体制
- 高度な粉末冶金技術と加工技術
- 様々なオーダーに対し柔軟に対応が可能（多品種・少量生産）



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

14

- 開発力、生産技術力、営業力が相まって、高い競争力を創出



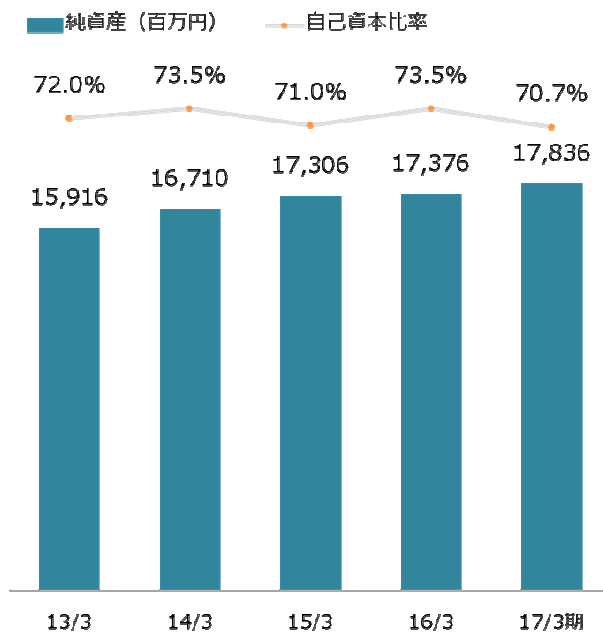
Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

15

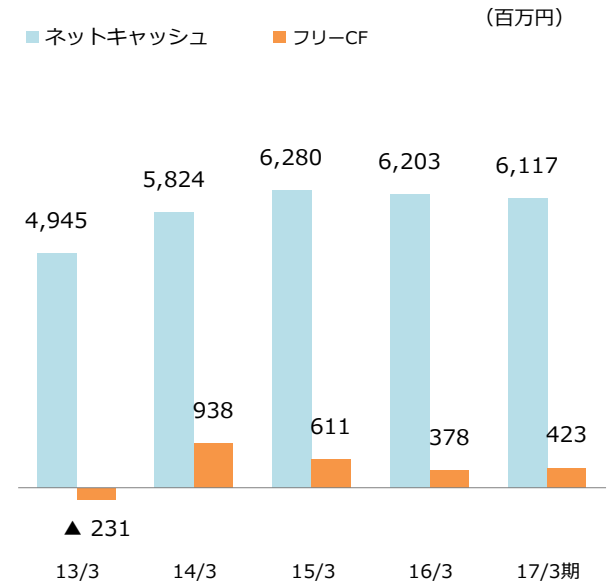


- 創業以来現在に至るまで**黒字経営**を継続し、高い自己資本比率を維持
- 手元資金も潤沢

## 純資産・自己資本比率推移



## ネットキャッシュ残高・フリーCF推移



※ネットキャッシュ = (現預金 + 有価証券) - (短期借入金 + 1年内返済予定の長期借入金 + 長期借入金)

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

16

page

I	会社概要	2
II	当社の特長	9
III	2017年3月期 業績概要	17
IV	2018年3月期 業績見通し	24
V	成長戦略	28
VI	参考資料	36

連結売上高	16,648 百万円	(前期比 103.7%) (計画比 100.5%)
連結営業利益	1,161 百万円	(前期比 120.6%) (計画比 106.9%)

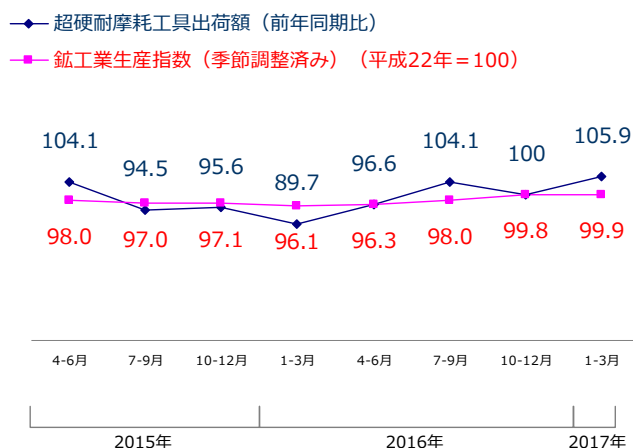
- 概ね公表計画に沿った着地
- 売上高は、国内販売が堅調に推移したことに加えて、一部製品の海外向け大口受注があったことにより増収となった
- 需要分野別では引き続き“輸送用機械”向けや“金型・工具向け素材”が好調であったことに加え、“鉄鋼”向けは大口受注があり若干回復した
- 利益面では、設備関係や人件費などコスト増の要因がいくつかあったものの、増収効果により前期比大幅増益となった

※ 2017年4月12日に東証1部に指定変更

## 2017年3月期の事業環境

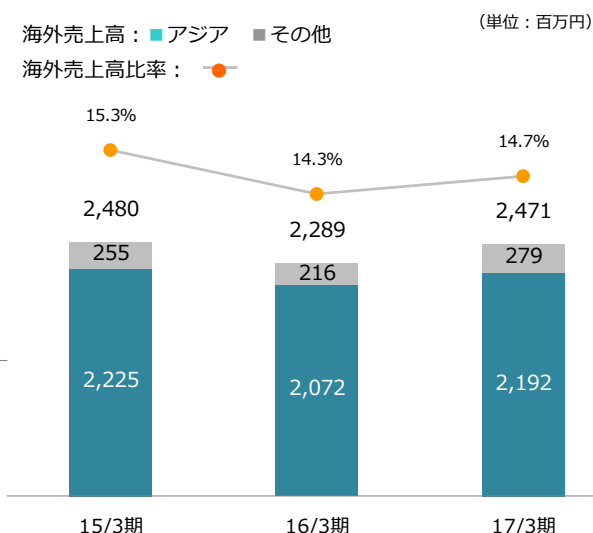
- 日本の景況が緩やかな回復基調にある一方、地政学リスクの高まりなど先行き不透明感が強まる中、2016年度の超硬耐摩耗工具出荷額は379億円（前年度比+1.6%）となった
- 海外売上高は前年度比8%増加、売上高比率も回復基調

超硬工具出荷額推移



出所：日本機械工具工業会 『超硬工具統計』  
経済産業省 『鉨工業指数』

海外売上高・海外売上高比率推移



(単位：百万円、下段は構成比)

	2016年3月期	2017年3月期	
			前期比
売上高	16,060 (100.0%)	16,648 (100.0%)	103.7%
超硬製工具類	4,189 (26.1%)	4,523 (27.2%)	108.0%
超硬製金型類	4,134 (25.7%)	4,101 (24.6%)	99.2%
その他の超硬製品	3,573 (22.2%)	3,698 (22.2%)	103.5%
超硬以外	4,163 (25.9%)	4,324 (26.0%)	103.9%
売上総利益	3,942 (24.5%)	4,218 (25.3%)	107.0%
販管費	2,978 (18.5%)	3,056 (18.4%)	102.6%
営業利益	963 (6.0%)	1,161 (7.0%)	120.6%
経常利益	959 (6.0%)	1,194 (7.2%)	124.5%
親会社株主に 帰属する当期純利益	732 (4.6%)	855 (5.1%)	116.7%

**主な増減要因**

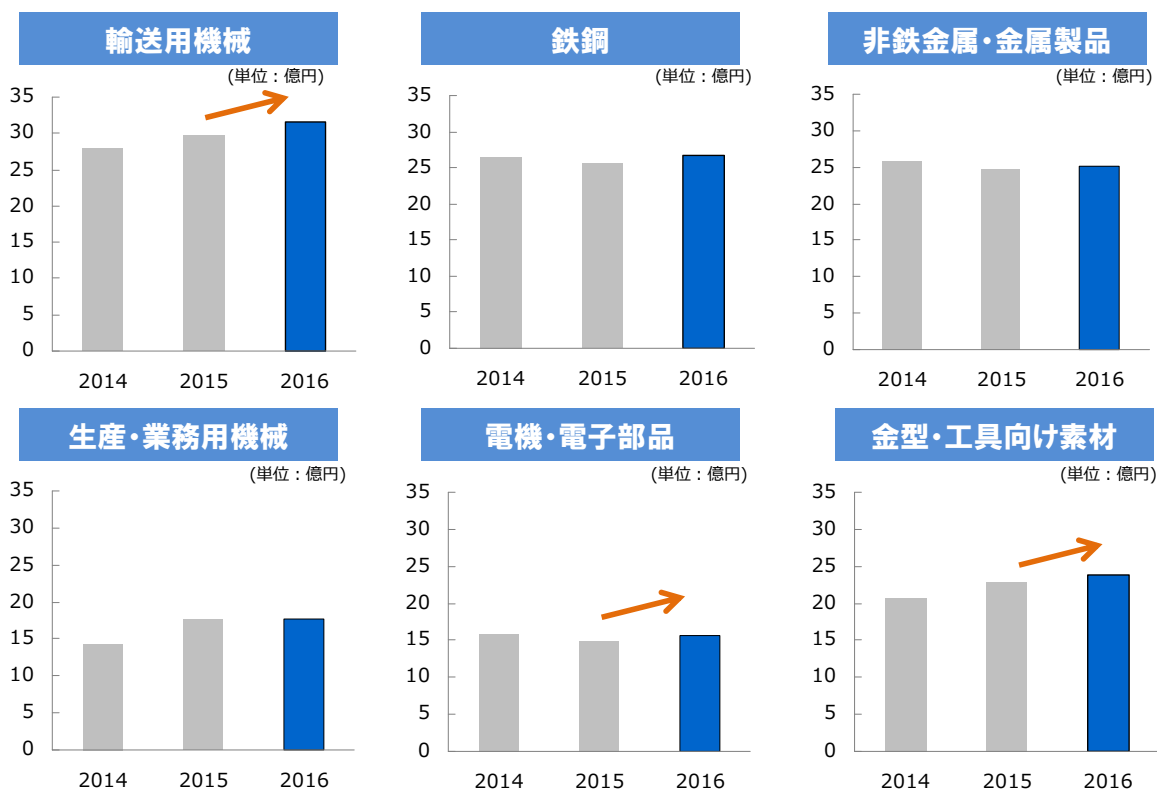
▷売上高

- 超硬製工具類：海外向け熱間圧延ロールや混練工具の販売が好調。
- 超硬製金型類：製缶金型が堅調に推移するも、電池関連金型が減少。
- その他の超硬製品：粉末成形金型用や精密プレス金型用の超硬合金チップが堅調に推移。
- 超硬以外：半導体用の混練工具や子会社が製造販売する引抜鋼管が堅調に推移。

▷営業利益  
売上総額の拡大に伴い増加。

▷経常利益  
為替差損の減少等により利益が拡大。

顧客産業分類別状況 (単体ベース、売上高)



(単位：百万円、下段は構成比)

	2016年3月期末	2017年3月期末	
			前期末比増減
流動資産	13,995 (59.2%)	14,056 (55.7%)	+61
固定資産	9,638 (40.8%)	11,188 (44.3%)	+1,550
資産合計	23,633 (100.0%)	25,245 (100.0%)	+1,611
流動負債	4,347 (18.4%)	5,545 (22.0%)	+1,198
固定負債	1,909 (8.1%)	1,863 (7.4%)	▲46
負債合計	6,257 (26.5%)	7,409 (29.3%)	+1,151
純資産合計	17,376 (73.5%)	17,836 (70.7%)	+459
負債・純資産合計	23,633 (100.0%)	25,245 (100.0%)	+1,611

### 主な増減要因

#### ▷流動資産

受取手形及び売掛金 +409  
仕掛品 ▲88  
原材料及び貯蔵品 ▲184

#### ▷固定資産

建物及び構築物 +1,533  
建設仮勘定 ▲51  
投資有価証券 +86

#### ▷流動負債

支払手形及び買掛金 +264  
未払法人税等 +309  
その他 +552

#### ▷純資産

利益剰余金 +415  
その他有価証券評価差額金 +53

# 連結キャッシュフローサマリー

(単位：百万円)

	2017年3月期
現金及び現金同等物期首残高	6,583
営業キャッシュフロー	2,289
投資キャッシュフロー	▲1,866
財務キャッシュフロー	▲471
現金及び現金同等物期末残高	6,506
フリーキャッシュフロー	423

### 主な内容

#### ▷営業キャッシュフロー

税金等調整前当期純利益 1,111  
減価償却費 1,007  
売上債権の増加 ▲415

#### ▷投資キャッシュフロー

有形固定資産の取得 ▲1,782  
無形固定資産の取得 ▲88

#### ▷財務キャッシュフロー

配当金の支払額 ▲440

	page
I : 会社概要	2
II : 当社の特長	9
III : 2017年3月期 業績概要	17
IV : 2018年3月期 業績見通し	24
V : 成長戦略	28
VI : 参考資料	36

## 顧客産業分類別 市場動向と当社の取り組み

需要分野	市場動向と当社の取り組み	前回見込み	今回見込み
輸送用機械	環境対策車および次世代自動車向けの部品成形用金型を積極的に取り込んでおり、前期比増を見込む		
鉄鋼	世界的な鉄鋼の供給過剰を受け国内高炉メーカー向け工具は減少するも、新興国向けの需要取込みで前期比並みを予測		
非鉄金属・金属製品	当社主力製品のひとつである飲料缶の成形金型、家電向け非鉄金属加工用工具の増加を見込み、前期比微増を予測		
生産・業務用機械	半導体製造装置向け部品や金属加工用装置向け金型、高圧関連工具が増加するも、光学機器用金型の減少をカバーできず、全体では前期比微減を予測		
電機・電子部品	磁石、電池向け金型は前期並みだが、半導体素材の成形工具の増加により全体では前期比微増を予測		
金型・工具向け素材	超硬素材はアジアを中心に、超硬以外の素材に関しては、特殊用途セラミックスを中心に国内での拡販を進め、全体では前期比並みを見込む		

- 全体として増収を目指す。熊本製造所のフル稼働に伴う減価償却費や修繕費等の増加をカバーするまでには至らず営業減益となる見通し

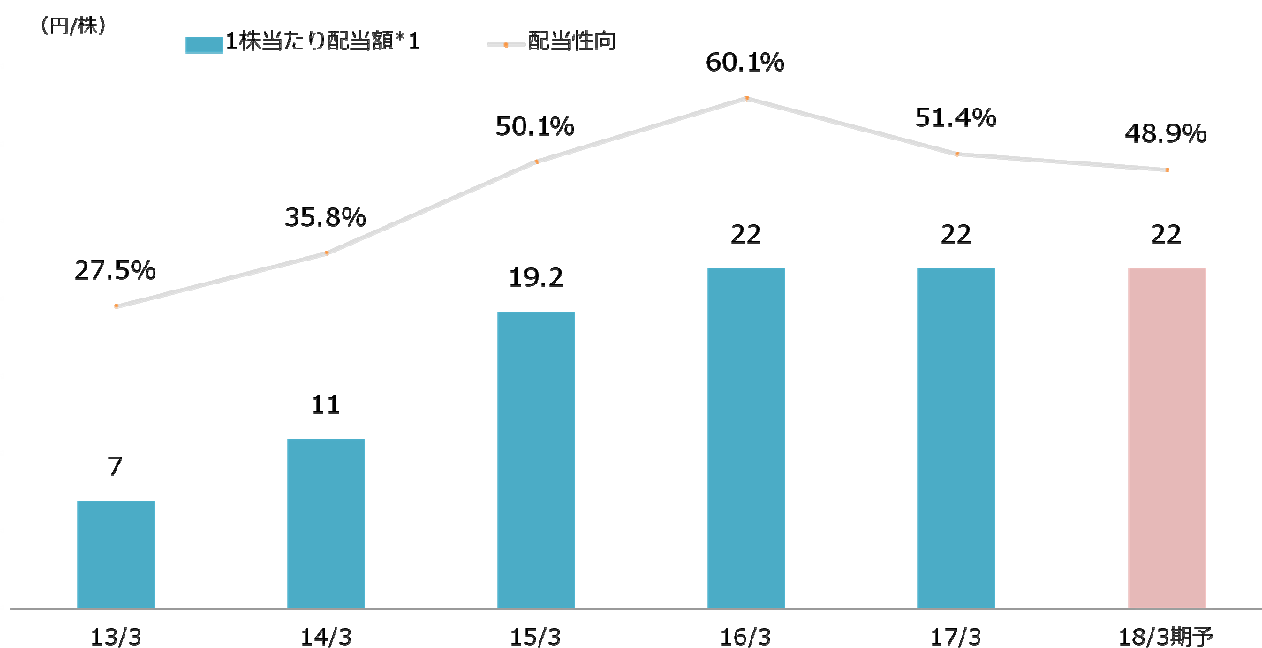
(単位：百万円、下段は構成比)

	2017年3月期	2018年3月期	
		計画	前期比
売上高	16,648 (100.0%)	16,868 (100.0%)	101.3%
営業利益	1,161 (7.0%)	1,110 (6.6%)	95.6%
経常利益	1,194 (7.2%)	1,214 (7.2%)	101.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	855 (5.1%)	900 (5.3%)	105.2%
設備投資	2,488	1,401	56.3%
減価償却費	1,007	1,121	111.2%

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

株主還元方針

連結配当性向を50%を目処に適切な利益配分を実施



\*1：15/1に1→100の株式分割を実施。遡及値。

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

	page
I : 会社概要	2
II : 当社の特長	9
III : 2017年3月期 業績概要	17
IV : 2018年3月期 業績見通し	24
V : 成長戦略	28
VI : 参考資料	36

## 成長戦略

POINT1

業務の効率化による収益率の向上

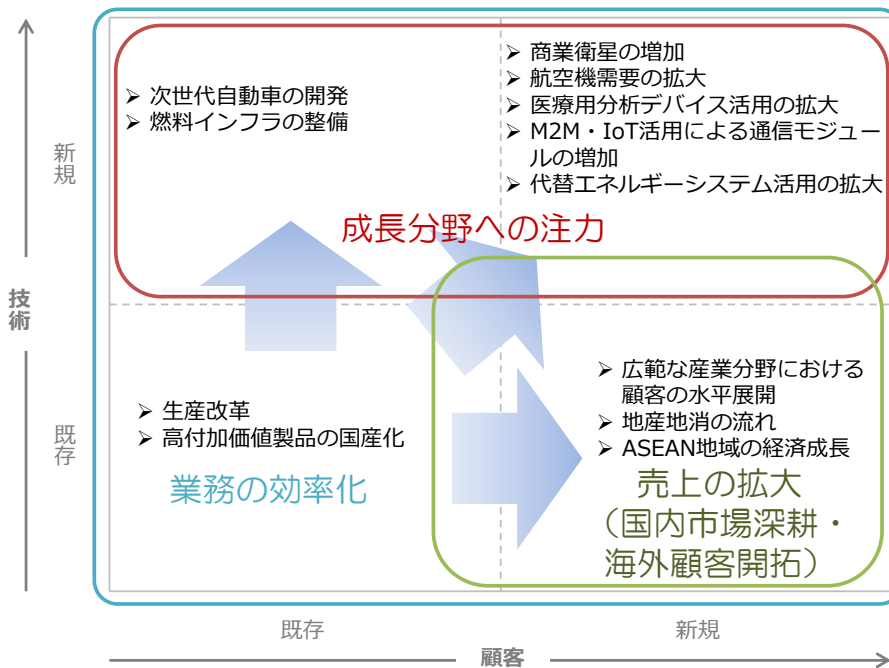
POINT2

売上（国内・海外）の拡大

POINT3

成長分野への注力

- 持続的成長を目指し、恒常的に業務の効率化を進め、国内市場の深耕、および経済成長が見込まれるアジア地域を中心とした海外売上の拡大を図るとともに、成長分野への研究 開発に注力していく



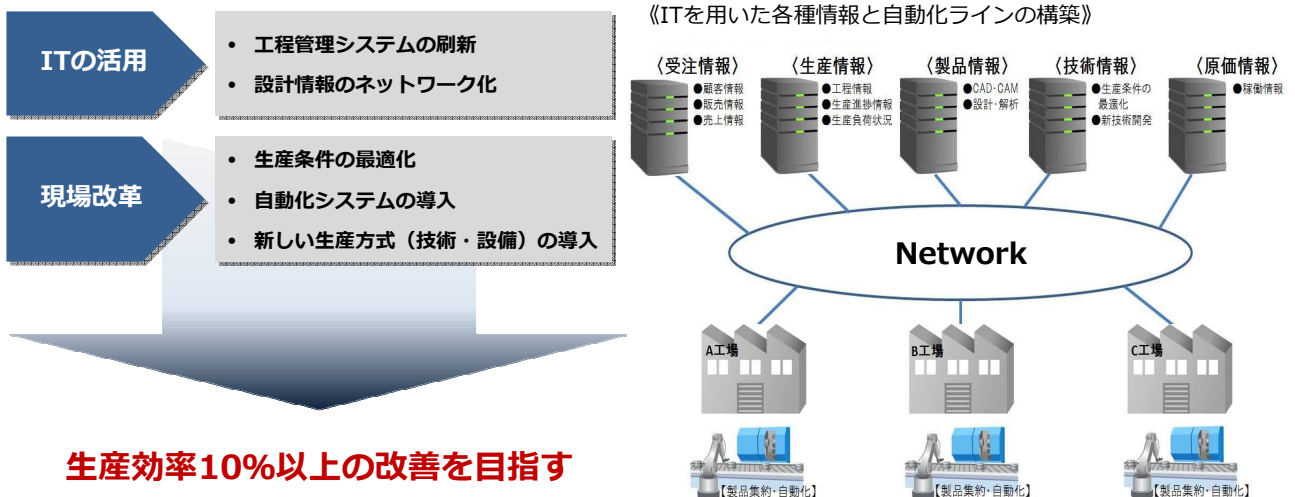
Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

POINT1

## 業務の効率化による収益率の向上①

- 国内製造部門における生産特性を考慮した製品、拠点の集約、再構築
- IT化による各種情報の一元化
- 生産の自動化や省人化などの生産工程の効率化

### 生産改革の施策項目



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.



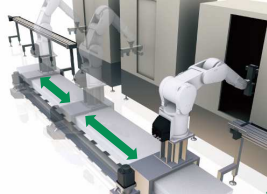
- 国内製造部門における生産特性を考慮した**製品、拠点の集約、再構築**
- IT化による各種**情報の一元化**
- 生産の**自動化や省人化**などの生産工程の効率化

## 熊本製造所新工場稼働

## ▼新熊本製造所 新工場内観



## 《自動化ラインイメージ》



## ▼主な施策

生産効率UP

## IT（情報管理）と生産体制構築による生産効率向上

	ステップ 1	ステップ 2	ステップ 3
IT関連	・工程管理システムによる生産日程の最適化	・生産情報の一元管理（図面・加工データ）	・IoT技術の導入による生産計画の最適化
生産関連	・品種（製品）集約（生産効率化設計）	・設備群の最適配置・ライン化	・自動化、省人化ライン配置 1st：MCライン 2nd：放電加工ライン 3rd：（異工程運動）他

## ▼スケジュール

2016年	2017年	2018年	2019年

（16年11月）熊本新工場操業開始

（17年5月）生産ライン移設完了

（18年3月）IT移行（設計情報管理）

（18年4月）自動化ライン稼働

（18年12月）複雑形状生産ライン増強

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

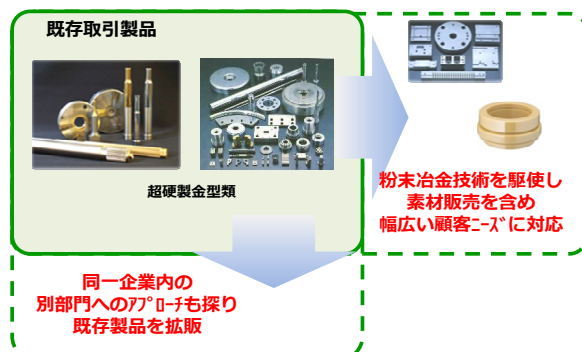
32

- 当社製品と親和性の高い産業分野の販売強化（水平展開）
- 技術優位性（粉末冶金・微細加工）を活かした**新分野参入、新材料開発**
- インターネットを活用した**デジタルマーケティング**

## 注力分野への営業強化

- 1社当たり売上高の極大化を意識し、当社製品との親和性の高い輸送用機械、生産機械分野への営業人員の配置を強化
- 当社技術及び業界技術に精通した技術サービス部と連携を深め、既存製品の枠に捉われないことなく、顧客ニーズの深掘りを図る

## ■1社当たりの売上拡大（イメージ）



## デジタルマーケティングの取り組み

- 当社が製造する主要製品（工具・金型）の使用方法、それらの活用事例、関連技術に関する動画を作成し、'17年1月から公開
- 今まで接点がなかった企業から、インターネットを介した引き合いも増加



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

33



※売上構成比は、日本以外の売上高に占める上位6カ国の構成比（日本からの輸出+現地法人分、2016年度）

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

34

### 成長分野の進捗状況

分野	概要	素材	優位性	進捗状況	販売時期(予定)		
					2016年	2017年	2018年
次世代自動車	①モーター用抜き金型	①超硬合金	①材料技術	①サンプル出荷済	●	----->	----->
	②車載電池用金型	②超硬合金	②加工技術	②販売中	----->	----->	----->
	③過給器用機械部品	③複合材料	③コスト低減	③サンプル出荷済	●	----->	----->
航空・宇宙	①航空機エンジンタービン加工向け工具	①セラミックス	①特許取得	①販売中 (量産体制構築)	●	----->	----->
	②燃料ポンプ用摺動材	②複合材料	②環境対応	②性能評価中	●	----->	----->
医療・化粧品	①分析マイクロチップ用金型(μ-流路)	①超硬合金	①加工技術	①サンプル出荷済	●	----->	----->
	②ドラッグデリバリーシステム用金型	②複合材料	②加工技術	②性能評価中	●	----->	----->
環境・エネルギー	①半導体向け高熱伝導用素材	①複合材料	①特許取得	①サンプル出荷済	●	----->	----->
	②高圧合成法を用いた触媒	②新物質	②特許取得	②サンプル準備中	●	----->	----->
その他	①赤外線レンズ用金型	①複合材料	①特許出願	①性能評価中	●	----->	----->
	②高圧発生装置用素材	②超硬合金	②特許取得	②販売中	----->	----->	----->

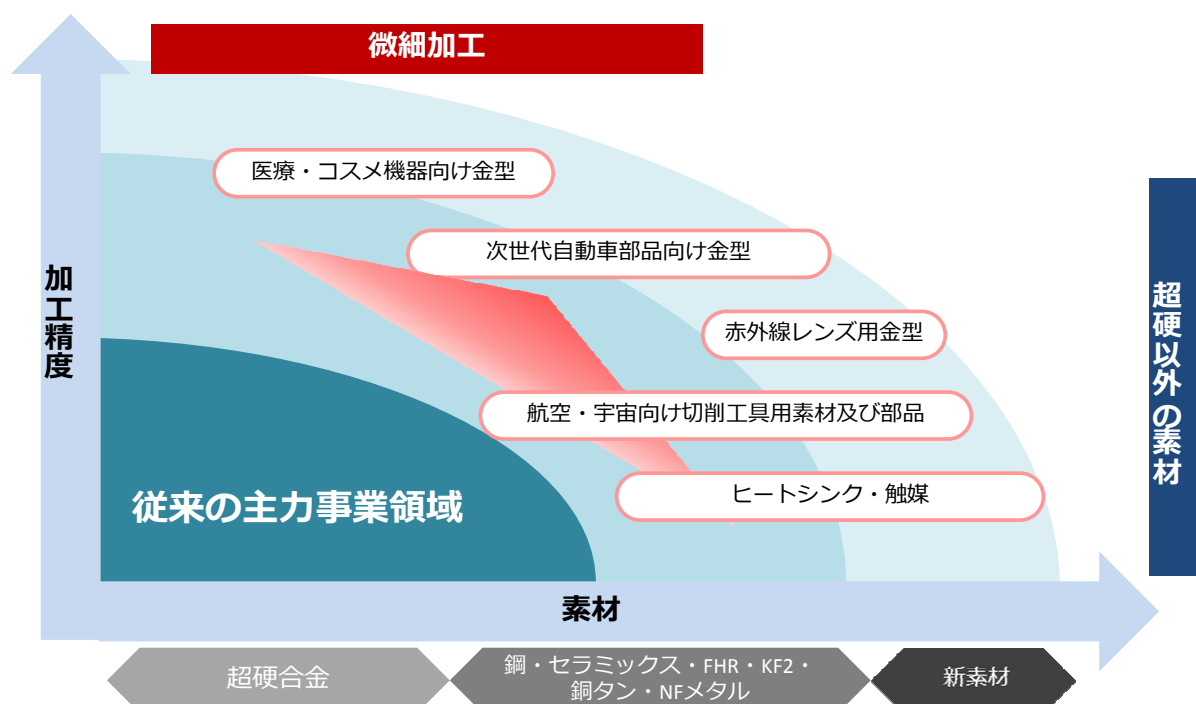
Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

35

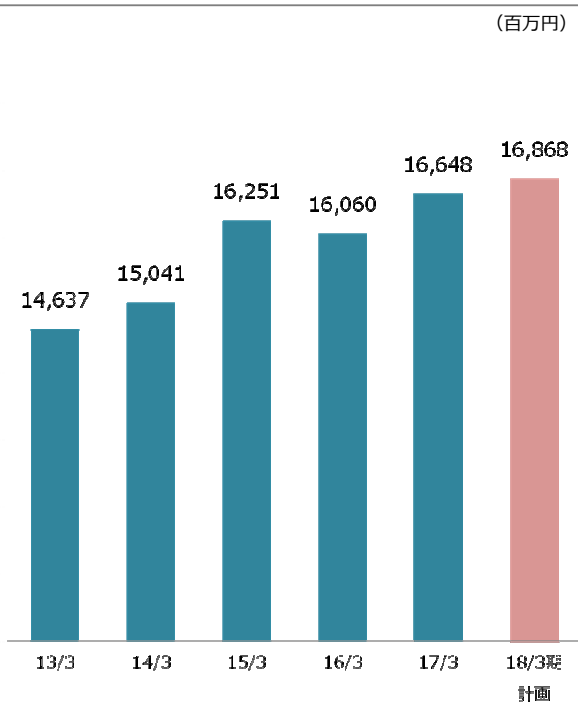
	page
I : 会社概要	2
II : 当社の特長	9
III : 2017年3月期 業績概要	17
IV : 2018年3月期 業績見通し	24
V : 成長戦略	28
VI : 参考資料	36

## 中長期的成長に向けた研究開発の方向性

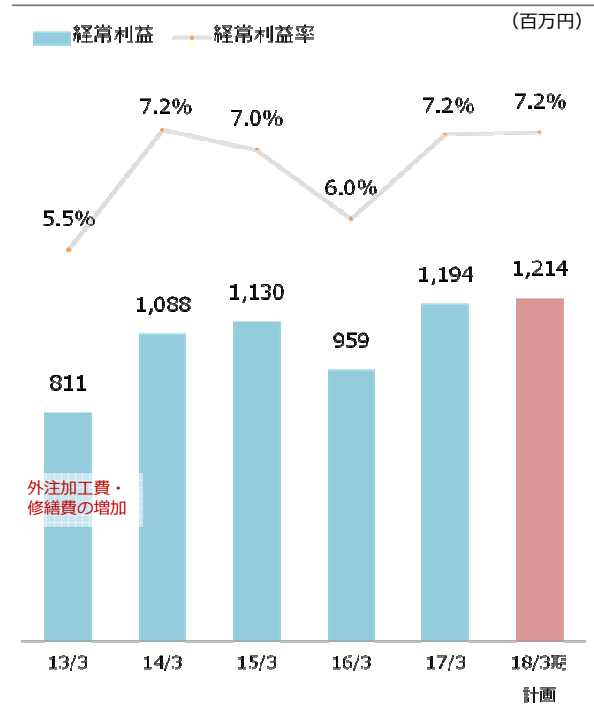
- 粉末冶金技術を駆使した**新材料**の研究開発を強化し、耐摩耗工具**以外**へ進出
- **超精密加工技術**を用いて研究開発を進展させ、**新しい産業分野**を開拓



売上高

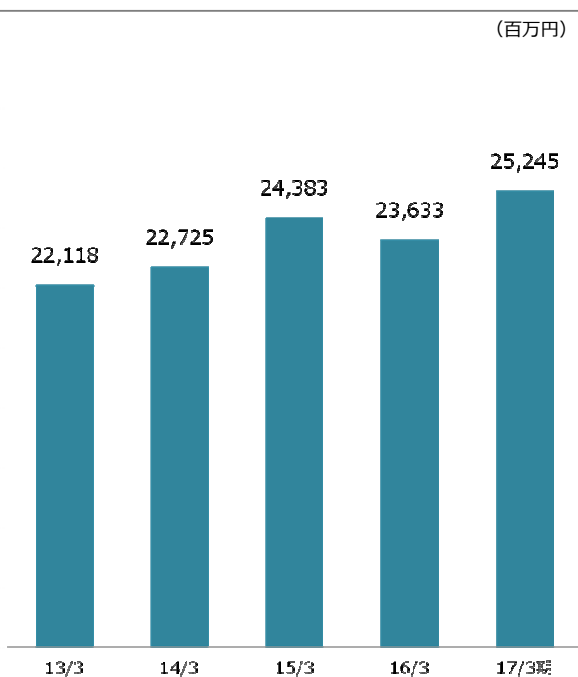


経常利益

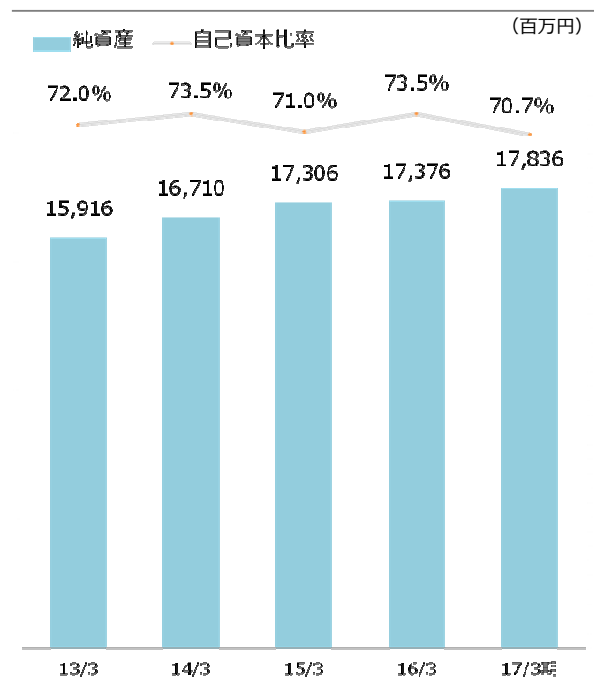


業績の推移 2/3

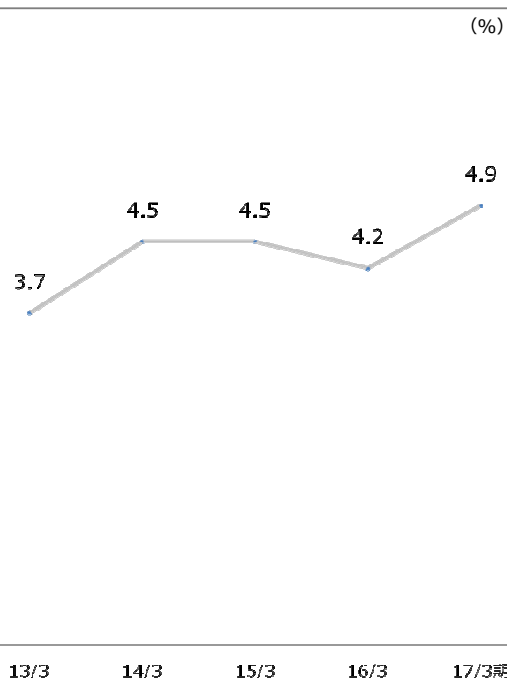
総資産



純資産



## ROE



## 免責事項について

当資料は、富士ダイス株式会社の現状をご理解いただくことを目的として、作成したものです。当資料に記載した内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成しており、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。

また、当資料には見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものがあり、当資料に記載されている内容とは異なる結果を生ずる不確実性(市場、金利、為替の変動といった国内外の経済状況等)が含まれております。今後、新たな情報や出来事等が発生した場合、当社は本資料の更新・修正を行う義務を負うものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

尚、情報の掲載には細心の注意を払っておりますが、情報の誤りや改ざん、データのダウンロード等で被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。